

【その他(1)】

令和 5 年度リサイクル推進課予算のポイント

原油価格の高騰や円安による物価高の影響による費用の増加

一般廃棄物収集運搬業務委託（1,156万4千円増） ゴミ袋作成費用（5,400万円増） など

【新規】粗大ごみ処理システムの導入（システム保守委託料等 291万4千円）

電話受付のみの対応だった粗大ごみの申込についてウェブでの申し込みを開始し、市民の利便性の向上を図る。

【新規】家庭ごみ搬入受付センター予約システムの導入(PC購入費等 27万円)

家庭ごみ搬入受付センターに自己搬入する際、電話あるいはウェブで搬入時間を予約する方式に変更し、搬入の際の待ち時間や交通渋滞の解消に取り組む。

【臨時】リサイクルプラザペガサスの施設評価（調査委託料 364万1千円）

リサイクルプラザペガサスの長期包括契約期限が令和7年度までと迫っていることから、現在の施設の状況を分析する。

【臨時】鹿野一般廃棄物最終処分場の中間覆土工事（施設改修工事費 900万3千円）

最終処分場の埋立ごみを衛生的に管理するための中間覆土工事を実施する。

【臨時】ごみの分別冊子の改訂及び全戸配布 ※（冊子印刷代等）

5年ぶりに改訂し、自治会を通じて全戸配布する。新たな品目や分別を見直した品目などを追加修正する。

※他の印刷物を含む全体予算が1,000万円であり個別の内訳はありません。）